Cotton Up

こっとんあっぷ　Vol.150



窓拭き

写真の4つの活動は、15分ほどかけて

連続して行いました。

この先にあるものは‥本文へ続く！



落ち葉掃除



刺繍キット



キャラクターカード集め

目次

・「T・D・S・N（Tanpopo Daily Support News）７３
～“選ぶ”を支える～」　＜2～4 ページ＞
・ものとらっくまるちとらっく　＜5 ページ＞
・たんぽぽの会決算報告　＜5 ページ＞
・後援会のご案内・ボランティアの募集・編集後記（編集部）　＜6 ページ＞

「T・D・S・N（Tanpopo Daily Support News）７３ ～“選ぶ”を支える～」

今回は、ふぁずで活動されているＫさんの、日々の取り組みや、新しい取り組みを選ぶ過程についてご紹介させていただきます。

Ｋさんは器用な方で、指先の動きや力加減、手の返し等が必要となる、菓子箱の仕切り折りや、釣り具の組み立て、5mm程の小さく薄い金属をフィルムから剥がしていく作業等、細かい作業を得意とされています。ご家庭では、掃除機掛けや食器洗い、食器運び等、様々な家事をしている事を伺ってきました。

Kさんのご家庭での経験や器用さを活かして、また、ふぁずでの役割を持つ、体を動かす機会を持つ事を目的として、これまで、更衣室や洗面所前のマットの掃除機掛けに取り組んできました。家庭で経験を重ねてきているためか、掃除機の準備や片付け、使用方法は取り組み当初から自立していました。さらにゴミへの着目が非常に高く、ゴミを見つけると、そこに掃除機ヘッドをあてがってゴミを吸い取り、次のゴミを見つけるという流れで、四隅への意識もあり、部屋を綺麗にするという目的にかなっていましたので、更衣室の掃除機掛けはご本人の手順で取り組んでいただくことにしました。

一方、洗面所前のマット（60㎝×90 ㎝）2 枚の掃除機掛けは、一見ゴミが見えない部分も、全体を一通り掃除機掛けしていただきたかったため、写真のように環境を整えました。





ヘッド部分

ご本人は、アニメのキャラクターがお好きなようで、「キャンディキャンディ」「アラレちゃん、すき！」等、言う事があり、職員が文字にしたり、Kさんが文字を書いたりして楽しむ様子がこれまでありました。そこで、やはりご本人が良くお話される「らんま 1/2」というアニメ番組のイラストを、プリントしてパウチしたものを半分に切り、上半分はマット上部、下半分は掃除機ヘッドに取り付けました（右写真）。

この環境で、マットの左下からまっすぐ上にヘッドを動かし、マット上部に貼られたイラストと合わさると、アニメキャラクターが完成することで、端から一列ずつ掃除機掛けをすることをお伝えしてみました（写真黒丸下）。初回は、イラストに顔を近付け関心は持ったものの、ゴミへの注目の方が高く、動きは変わりませんでした。この時気付いたのは、Kさんの立ち方でした。マットの左下あたりに、両足を揃えて立って掃除機を片手で持ち、その腕を伸ばすかたちで、ゴミを吸っていました。

そこで今度は、立ち位置と立ち方をお伝えしてみました。写真黒丸上のように、両足のマークが書かれたシートを置き、マークに合わせて立つ事で、掃除機掛けがしやすい位置で、両足を少し開いて安定する事が出来、さらに両手で掃除機を持ち、ヘッドをスライドしていく流れを指差しでお伝えしました。

すると、初回より格段に、こちらがして欲しい動きをしてくれるようになりました。アニメのイラスト合わせは、Kさん自ら、絵柄を合わせたいと強く思うほどの関心を引き出すことは出来ませんでしたが、掃除機掛けをする列の目安にはなっているようでした。列ごとの掃除機掛け中にも、見つけたゴミを取る様子もありましたが、最終的にマット全体を掃除機掛けするという事は達成でき、今後も日常の中で、是非継続して行っていただきたい活動となりました。

さて、次の新たな一年、Kさんの生活がより豊かになり、満足感と自信を持って過ごすために、適切な目標・課題とはどのようなものだろうかと考えました。Kさんは、作業室内にある作業を見て、これをやりたいという意思表示はして下さいますが、「こんな生活をしてみたい」「こういう新しいことにチャレンジしてみたい」ということを、日常の中で強く発信することはなかなかありません。そこでまずは、Kさんのふぁずでの日々の様子を振り返ってみました。

・一日同じ作業種を行う時、別作業をしたいと言う時もあるが、概ねずっと集中して取り組む事が出来る。
・床に落ちているケーブルゴミ等、離れたところにあっても、すぐに気付き拾いに行く。
・通所時、ふぁずの玄関まわりにある落ち葉を拾う。
・一日の作業終了時に自分のエリアを掃除するほうき掛けはとても丁寧。
・物の位置がずれていたり、作業道具等のテープが数mm剥がれていると、すぐに直したい。
・衣類の毛玉への注目が高く、気付くと取る。家庭では小さなほつれをすぐに縫う。
・数年継続している消毒活動は、拭く力も入り意欲的。まんべんなく全体を拭き、終える事が出来る。
・ディズニーやアニメキャラクター、カラフルな柄を好むよう。
・そして・・笑顔が素敵(^^)/

Kさんがふぁずに通所してから帰宅するまでを思い返すといろいろな様子が浮かびます。今回は、新しい目標・課題を考える上で必要になりそうな情報に限定しましたが、まだまだ書き加えたいところです。そして、ご家族はいつも、ご家庭の様子を細やかに教えてくださいますので、ご家庭の様子についても、もちろん全てではありませんが、こんな感じで過ごされているのかなと感じることは出来ます。


得意作業のひとつ、仕切り折り作業中のKさん

こういった情報から、Kさんが好むもの、興味があるものについて仮説を立てました。
☆本来あるべき状態、きれいな状態が好き。
☆目的があると体を動かすことをいとわない。
☆得意な作業は長く集中する事が出来る。
☆掃除の終わりを自分なりに区切ることが出来る。
☆裁縫は、家庭でも自ら行っていることから好みと思われる。

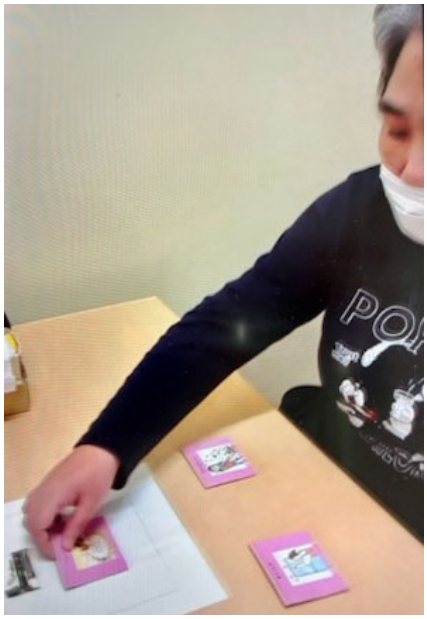
ここから、4つの提案をKさんにし、ひとつを選んでもらうことにしました。
① キャラクターのカード集め(体を動かしリフレッシュする休憩のバリエーションを増やす)
② 落ち葉掃除(生活スキルの向上、役割活動のバリエーションを増やす)
③ 窓拭き(生活スキルの向上、役割活動のバリエーションを増やす)
④ 刺繍、ふぁずで使用する布巾の作製(生活スキルの向上、休憩のバリエーションを増やす)

Kさんへの提案方法としては、これまで経験がないものもあるため、実際に体験してもらう事にしました。Kさんが出来るだけ落ち着いて、上記の活動の体験と選択が出来るよう、活動時間は一日の作業を終えて一息ついた時間帯にします。また、一度に4つのことを続けて行う経験は少ないため、スケジュールには付き添う職員の写真カードを貼り、職員と一緒に行う活動がある事をシンプルに伝えました。また、それぞれの活動時間は短めにし、普段の一回の作業時間より短い時間ですべてが終わるように準備しました。

ご本人が職員カードを差し出してくださったところで、職員から4枚のカードを見せて4つの活動をする事をお伝えし、スタートしました。どの活動も、職員の説明を聞いて落ち着いて取り組んでくれました。表紙の写真が、活動の様子を撮影した写真です。マスクで表情が見えにくく分かりづらいとは思いますが、活動内容は理解しているもののあまり気分が乗らないという様子と、自信を持って出来る、意欲を持ってやっている様子の違いが、その場にいると、表情や歩き方、行動の素早さ等から見て取れました。

こうして4つの活動を行い、最後に席に戻って、使用した4枚のカードを横一列に並べました。そして、この先一年、何を行いたいのかを示したプリントに、1 枚カードを貼る場所を設けておき、カードを選んで貼るかたちで、ご本人の選択の場を設けました。





Kさんは職員の説明が終わる前に、迷いなく、『④刺繍』を選びました。刺繍は、キットをお見せするだけだったので、やりたい意欲が強く出た可能性もありますが、刺繍キットを見た瞬間のKさんのそれまでなかった満面の笑顔の表情や、素早くキットを触ってみる様子等から、高い関心を持っている事が伺えていました。

ちなみに、刺繍カードは4枚横に並べたうちの一番右手。右利きのKさんの一番手に届きやすい位置です。左から、行った活動順に並べた結果なのですが、Kさんの視線は4枚のカードをすべて見た上で、刺繍カードを手に取っていました。選択前の、刺繍キットを見た時のKさんの表情、刺繍カードを手に取ってプリントに貼る力強さから、カードが取りやすかったからではなく、ご自分の意思で選んだと推測しました。

この一連の様子は動画におさめ、ご家族にも、ご本人の行動や表情を見ていただきました。ご家族からは、(刺繍キットを見ている時)「良い表情してる」と、ご本人の選択を支持する言葉をいただきました。Kさんと一番長く一緒にいるご家族の意見を伺い、Kさんの選択の根拠がさらに固いものとなりました。そしてご家族には、家庭で上手くいっていない事も含めて、ご本人の様子を日頃から細やかに教えてくださっている事、この場をお借りして感謝をお伝えさせていただきます。

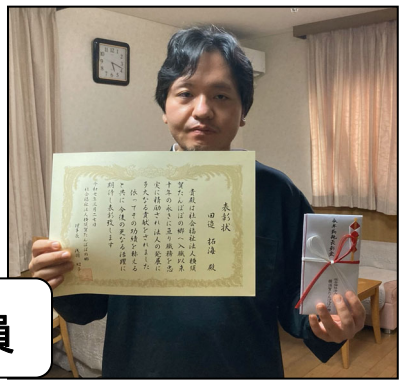
利用者のみなさんが選んだことに対し、本当に希望するものを選べているか、いつも不安に感じています。確かな答えをもらえる事はなかなかありません。しかし一方で、日常の中で、自分の訴えたい事を、指で示したり、手を引いたり、メモとペンを希望したかと思ったら、文字やイラストで伝えようとしてくれたり、時には、ご本人なりの解釈の言葉で伝えようとしてくれたり(例えばポストの事を「赤」と言うように)。伝えたい、こうしたいという思いがある時の利用者のみなさんは、とても意欲的です。私たちはその力を信じて、多くの体験や提案を提供し、利用者のみなさんが落ち着いて選択を出来る環境と時間を保障する事が、数少ない出来ることなのかなと思います。

ご本人のことをどれだけ知っているか。知ろうとしているか。本人や家族も知らない一面を引き出そうと努力しているか。支援者が、日常の中で積み重ねていく事で、より広く深みのある支援に繋がっていく事を、改めて感じる日々であり、今後さらに精進していきたいと思っています。

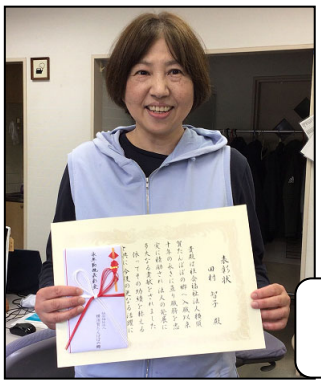
庄司恵美子

このコーナーでは「横須賀たんぽぽの郷」ニュースをトピックスでお伝えしています。

永年勤続表彰・10 年



田邉職員



田村職員

長年の功績を称え、法人より表彰を致しました。益々のご活躍を期待しています！

《2024年度　たんぽぽの郷後援会　決算報告》

たんぽぽの郷　後援会

昨年度、皆様からいただきました会費については、下記のとおりの収支でしたので、ご報告申し上げます。

（自 2024 年 4 月 1 日～至 2025 年 3 月 31 日）

〈収入の部〉　〈支出の部〉

項目	決算額	項目	決算額
前期繰越金	171	寄付金（わたげへ）	320,000
会費	327,000	振込手数料	4,210
		次期繰越金	2,961
合計	327,171	合計	327,171

以上　　会計　　常田ちよ子

2024 年度収支決算書及び関係帳簿・領収書を監査したところ、報告に相違ないこと証します。

会計監査　　對比地祐子

高橋正子

皆様よりの会費等の決算につきましては上記の如くご報告申し上げます。

たんぽぽの郷後援会のご案内

たんぽぽの郷後援会は、横須賀・三浦地区に在住の「自閉症」という障害を伴った人たちが、地域の一員として自分らしく生活していくために、必要な支援に取り組んでいる【社会福祉法人横須賀たんぽぽの郷】の活動を支援する事を目的に組織されました。

▼ 年会費	個人会員	1口	3，000円
	団体会員	1口	10，000円

たんぽぽの郷後援会にご理解、ご協力くださる方は、下記の郵便為替口座をご利用ください。

郵便為替口座番号　　００２４０－９－１７４７４

郵便為替口座加入者名　　たんぽぽの郷後援会

ボランティアさん　募集中

わたげ・ふぁず・こっとんはうすで、自閉症を伴う方々と一緒に何か活動してみませんか？

作業の検品、余暇活動の支援、清掃等

お手伝いをしていただける方がいましたら、ご連絡ください！！

〈連絡先〉

わ た げ　電話:046－844－0038　（担当:いまうじ）

E－mail:　aaq40690@hkg.odn.ne.jp

ふ ぁ ず　電話:046－884-8040　（担当すぎうら）

E－mail:　faz2018@wing.ocn.ne.jp

こっとんはうす　電話:046－852－8355　（担当:ひがしがわ）

E－mail:　tanpoponosato-ch-rg250e@jcom.home.ne.jp

編集後記　～編集部～

新年度になり、ふぁずの隣の小学校には大きなランドセルを背負った新入生が桜の木の下を楽しそうに歩いているのを目にします。そんな姿に刺激を受けて、「今年度は深みのある年に‼」と心に誓った今日この頃…。このモチベーションが今年こそ一年間、維持出来るように頑張っていきたいものです。

近年、神奈川県では意思決定支援に関して注力しており、私自身、昨年に意思決定支援の研修に参加させてもらいました。研修で「意思決定支援は特別なモノではなく、日々行われていること」「意思決定は日々の積み重ね」と5名の講師の方が講義の最後に共通して話していたことが強く印象に残っています。

日々の中で利用者さんの一挙手一投足に目を向けて、利用者さんから出るサインから新たな一面を発見し、利用者さんの望む事の実現や、新たな可能性を発見できるよう、今年一年かけて「深みのある支援」が出来たらと思います

今回のCotton Upで１５０号を迎えました。今後ともよろしくお願いいたします。

編集部　石井

編　集　社会福祉法人　横須賀たんぽぽの郷　〒239-0824　横須賀市西浦賀３－１３－２１
TEL:046-844-0038／FAX：046-844-0036　E－mail：aaq40690@hkg.odn.ne.jp